



7

まつのき ゆうほどう 松之木どんぐり遊歩道

埼玉県八潮市松之木264

八潮市は、埼玉県東南部に位置し、中川、綾瀬川、垢川、大場川に囲まれた自然堤防と後背湿地からなり、古来江戸の穀倉地帯といわれ農耕が盛んな街であった。しかし、首都圏15キロメートルに位置するため、現在は、工業都市であるとともに住宅都市の様相を呈している街である。〔文化・観光〕中川堤、大経寺円空仏、獅子舞い（7月1、2日、15日）



松之木どんぐり遊歩道は、市の中央部を南北に流れる葛西用水路と遊歩道を一体として整備されたものである。

用水路は従来の鋼製矢板にかえて、魚巣ブロックと階段ブロックを組み合わせた親水護岸を設置して、子供たちが安全に魚釣りを楽しめる場とした。

歩道部にはインターロッキングブロックを敷き、各所にベンチを設置、既存樹

を残して、その間に果樹、花木などを植え、四季おりおりのおもむきをもった花

や実を楽しめるようになっていた。また遊歩道の特徴として、自然石を使ったせ

せらぎ池を設け、灌漑期に用水路の水を流し、子供たちの水遊び場となっており、

付近の学校の生徒たちによって、清掃活動などが実施され、憩いの場として地域

に親しまれている。